

---

# 憤怒の阿修羅

幻獣王

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

憤怒の阿修羅

### 【Nコード】

N3539BA

### 【作者名】

幻獣王

### 【あらすじ】

目覚めると其処は灰色の空と砂漠。状況が掴めず、謎の声に導かれるままに先を進む。その先に、八神将だったアスラを待ちうけているのは……。

## 招かれる阿修羅（前書き）

プロローグが短いのでご注意ください。

## 招かれる阿修羅

視界に入る光景は灰色の煙が漂う空。地面を覆う砂漠は灰色の空と同じ色。

金属質で覆われた両腕で地面に付けて上半身を起き上がらせる。白髪染めか、元から白髪だったのかは分からないが、穏やかな風が、そっと逆立てた髪の毛が揺らいた。

生気が無い白い目の奥底は、負の念を宿しているようだ。顔、筋肉質の体、足の色は、緋色か紅緋色で肌や皮膚が染まっている。下半身は貴賓の装飾を付け加えた武道の胴着。もう数百年の年月が過ぎたかのようにボロボロだ。

目が醒めたようだね。

「!?」

直ぐ様足を正常に立たせて、周囲を目で見ながら搜索。

見つけようとしても無駄だよ。

「……」謎の声が、人間とは程遠い筋肉質で異様な姿の男の耳に響いている。

深淵の底に憤怒を抱える阿修羅よ、その怒りの拳をボクに見せてくれるかい？

「……そんなことはどうでもいい……姿を……姿を現せ!!!」

それは出来ない。

「なら……何が目的だ!!」

君の力が見ただけさ。神業な格闘術で“ゴーマ”を一掃する力をね。

「……俺の力を？」

なぜ、この声の持ち主はそんな事を知っているんだと、不思議な表情をする。

答えは簡単さ。ボクが正真正銘の神だからだよ。

一瞬浮かんだ事を、瞬時に言い当てられた。

「……正真正銘!？」

信じられない者は大抵そんな形式で驚くよ。神を偽って名乗るから、馬鹿げた反応しかしないのかな？

筋肉質の男の目前に、黒色の円形型魔方陣が地面に現れる。

其所に入ってごらん。君と同じような愚かな存在が常世を目指そうと踏ん張っているよ。

行動出来る選択肢は謎の声に従う他ないようだ。一歩ずつ足を動かし、魔方陣に踏み入れる。無が強調された世界から、元“八神将”の『アスラ』は魔方陣の効果で別の場所へ転移された。

その先には、あらゆる異形の存在が待ち構えていると知らずに……。

T  
o  
b  
e  
c  
o  
n  
t  
i  
n  
u  
e

<UJ

## 招かれる阿修羅（後書き）

これから色々な奴らが現れます。話の内容は主に戦闘が中心です。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n3539ba/>

---

憤怒の阿修羅

2012年1月9日03時48分発行